



## MRFを除く日々決算型ファンドの 新規購入申し込みの受け付け停止について

2016年2月2日

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では日々決算型ファンドについて、従来から安全性重視型商品として特に「安全性」と「流動性」を重視した投資方針のもと、厳格な運用を行ってまいりました。1月29日の日本銀行によるマイナス金利政策の導入をうけ、安定的な運用が困難になる可能性があるため、受益者保護の観点から、2月2日より下記ファンドの新規購入申し込みの受け付けを停止いたしましたことをご連絡いたします。

<新規購入申し込みの受け付けを停止するファンド>

- ・中期国債ファンド
- ・三菱UFJキャッシュ・ファンド
- ・フリー・ファイナンシャル・ファンド
- ・国際のMMF(マネー・マネージメント・ファンド)
- ・S-MMF(スーパー・マネー・マネージメント・ファンド)

### Q1.なぜ「日々決算型ファンド」の新規購入申し込みの受け付けを停止するのですか？

「日々決算型ファンド」は安全性重視の商品ですので、償還期間が短い国債や短期金融資産等元本の確保が期待される有価証券で運用されています。

今までは低いとは言えプラスの利回りの有価証券で運用するポートフォリオを構築してきました。しかし、「マイナス金利」の導入後に、大きな追加設定がありますと新規の資金で「マイナス金利の金融商品」に投資せざるを得ないケースも想定され、これにより元本を割り込むリスクが高まってしまう。

こうしたリスクをできるだけ回避し既存の受益者のみなさまの財産を保護する目的で、新規購入申し込みの受け付けを停止させていただきました。

### Q2.マイナス金利とは何ですか？

民間の銀行が日本銀行に預ける「当座預金」において、日本銀行が利息を支払うのではなく、民間の銀行側が利息を支払う仕組みです。

これに伴い、国債や短期金融資産の利回りも低下し、一部はマイナスの利回りで取引されています。

### Q3.解約はできるのですか？

今回停止を決定したのは「新規購入申し込みの受け付け」のみです。「ご解約のお申し込み」は従来通りのお取り扱いとなり、今後も解約申し込みの受け付けはいたします。

**Q4.新規購入申し込みの受け付けはいつから再開されますか？**

現時点では未定です。

**Q5.新規購入申し込みの受け付けを停止することで元本は確保されますか？**

「日々決算型ファンド」は安全性重視をめざし厳格な運営を続けて参りますが、投資信託にはリスクがあり、元本が保証されるものではありません。  
新規購入申し込みの受け付け停止の実施は現在の受益者の投資元本の保護をめざして決定いたしました  
が、投資環境によっては元本を割り込む可能性があります。

**Q6.このまま保有していても大丈夫ですか？**

弊社ではお客さまの期待に添うべく真摯に運用を行って参りますが、「マイナス金利」の導入を受け、今後期待される利回りは従前より低下することが見込まれます。また、投資信託はリスクのある商品ですので万一の場合、元本が毀損される可能性もございます。  
今後の投資の継続につきましてはお客さまご自身でご判断されますようお願い申し上げます。

**Q7.MRF(マネー・リザーブ・ファンド)の新規購入申し込みの受け付けは停止しないのですか？**

MRF(マネー・リザーブ・ファンド)は今回新規購入申し込みの受け付けを停止したファンドと同様の運用を行っておりますが、証券総合口座用ファンドとして決済機能を持つため、お客さまの利便性を最優先し、新規購入申し込みの受け付けを現在継続しております。

<弊社が運用するMRF>

- ・三菱UFJ MRF(マネー・リザーブ・ファンド)
- ・東海MRF(マネー・リザーブ・ファンド)
- ・三菱MRF(マネー・リザーブ・ファンド)
- ・国際のMRF(マネー・リザーブ・ファンド)

## 留意事項と投資リスク

## 【投資信託のご購入に際しての留意事項】

## ◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

## ■ 公社債の投資に係る価格変動リスク

公社債への投資には価格変動リスクを伴います。一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、公社債の価格の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

## ■ 信用リスク

信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。この場合、有価証券等の価格の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

## ■ 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。この場合、有価証券等の価格の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

## 本資料に関するご注意事項等

- 本資料はMRFを除く日々決算型ファンドの新規購入申し込み受け付けの停止について投資家のみなさまにお知らせする目的で三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。／本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

設定・運用は

## 三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
 加入協会:一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

※販売会社は下記照会先でご確認ください。

お客さま専用フリーダイヤル **0120-151034** 受付時間/9:00~17:00  
(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

ホームページアドレス **http://www.am.mufg.jp/**